

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型事業所ふれも(放課後等デイサービス)

公表日 令和7年2月28日

利用児童数 90

回収数 73

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	70	3	0	0	個別・少人数部屋・運動の部屋など工夫されている。	個別療育では個人情報保護と落ちついて活動に取り組めるように個室を用意しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	70	0	0	0		利用者のニーズに合わせて多職種で連携を行い支援しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	61	7	5	0	利用している我が子に対しては適しているが、他の子に対しては適していないように思う。 駐車場や前の道路が危ない。	歩行困難な場合や兄弟児が同席する場合は建物横の駐車場を案内しています。必要に応じて第2駐車場まで職員が付き添いをします。子どもの安全に配慮して必要な設備の改修をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	71	0	0	2		毎日決まった時間に清掃の時間を設け職員で施設内の安全点検などの確認を行っています。グループ活動や個別の支援後に、使用したおもちゃや遊具、こどもの活動場所の消毒と換気を必ず行なっています。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	71	2	0	0		放課後等デイサービス計画作成会議を通して、職員全員でこどもの特性を多角的な観点で話し合っています。その結果に応じて、支援計画を作成し療育に反映されています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	55	7	0	11		支援プログラムは事業所の理念に沿い、こどもの実態に合わせて内容を作っています。こどもの療育内容はこれに基づいて作っています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	71	2	0	0	必要な支援・具体的支援が設定されていると思う。 あまり意識していなかったで良く分からない。具体的な支援内容が不透明。計画書の作成は少し遅いが、きちんと作成していただいている。	定期的なケース会議を行い、職員間で子どもの実態やニーズを共有し個別支援計画を作成しています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	68	2	0	3		放課後等デイサービス計画は、入りが確定した時点で、こどもや保護者の希望や課題を踏まえて、適切なサービスが総合的に提供できるように作成しています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	71	1	0	1		放課後等デイサービス計画を受けて、個別支援計画を5領域（「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」）から作成し、具体的な支援内容を明記しています。支援者は、支援計画に沿って支援にあたり、随時、保護者に支援状況を報告しています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	64	9	0	0	子どもの様子に応じて工夫してくれている。	療育の最後に振り返りを行う中で、最近の様子も保護者様から聞き取りを行います。その時に出た困り感にも迅速に対応し活動に取り入れています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	28	10	21	14		こども達は、保育所や幼稚園で普段交流しています。更に、コロナ感染症が5類に移行となり、こどもたちの交流が活発になってきました。また、こども会、お祭り等を通して、地域の中で触れ合う場も多様化していると感じます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	69	2	1	1		利用開始の契約の締結に際し、保護者に対する利用についての説明は、児童発達支援管理責任者から利用手続きや利用者負担額等について分かりやすく丁寧に説明しています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	70	2	0	1		半年毎に放課後等デイサービス計画を見直し、保護者様に説明し話し合いを行っています。話し合いの結果を反映した最終版に保護者様の了承のサインをいただいています。

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	63	7	0	3		子育てサポートや家族支援が必要と思われるケースは、個別支援計画に明記し、計画的に家族支援が行われるようにしています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	72	1	0	0		療育の際は保護者に同席をお願いし、課題の目的や今後の見通しなどを分かりやすく伝えていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	68	1	1	1	個別からグループになったので、担当の方と話す機会が別日になってしまう。毎回の指導後に話すことは難しいと感じる。活動の前後は難しいが、相談事にはその都度応じていただいている。	保護者様からの面談希望があった場合には、その都度迅速に面談の日時を決めて対応しています。療育の中で最近の様子や困り感を聞き取り、必要に応じて専門職や保育士に相談できる機会を作っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	65	3	0	5		支援者は療育に当たる際に、保護者やこどもの気持ち(困り感)に寄り添うよう心がけています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	53	14	2	4	参加していないだけかもしれないが、保護者同士の交流は少ないと思う。保護者会は開いてもらっている。いつも参加できずすみません。	年に2回保護者会を開催し、ぶれもの運営方針や連絡事項の共有をおこなっています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	72	1	0	0		相談を受けた保護者には後日支援時に結果報告をし、保護者やこどもの気持ち(困り感)に寄り添うよう心がけています。電話での要望・意見があった場合緊急性があれば、即時に対応します。また、保護者から相談があった際は、内容に応じて管理者やセラピスト(専門職)が相談にのっています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	71	2	0	0	電話が通じにくい時もあるが、LINEではすぐに返事をいただいている。また記録としても残るので有難い。	公式LINEによる連絡ツールを活用し、予約や連絡のやりとりをおこなっています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	66	4	1	2		支援の際には、保護者の同席をお願いし、支援後には保護者から感想等を聞き取り、必要であれば支援に繋いでいきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	66	6	1	0	子どもの顔写真や名前などを貼り出していないところが有難い。(他事業所では貼り出されているところもある)	個人情報保護についての研修や法令等の確認を職員間でおこなっています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	64	6	3	0		業務継続計画(自然災害・感染症)・各種緊急時対応マニュアルを保護者待合室に置き、いつでも閲覧できます。また、広報紙への掲載や保護者会等で、緊急時の対応について情報提供しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	59	8	2	4		職員は月に一度避難訓練を行っています。利用者とは年に一度、施設内避難訓練を実施しています。個別・グループ支援の際に避難経路の確認や防災頭巾の被り方などを練習しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	66	3	2	2		毎月の「ぶれもだより」を通して、定期的に行われている衛生管理、安全点検、及び防災訓練を通してこどもの安全の確保には十分に配慮しています。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	69	1	0	3		事故時の対応としては①ひどい怪我の時には県に一報する。②頭をぶつけたら、病院受診のお勧めを保護者に行う。③夜にその後の様子を電話で聞く。④報告書に記入する。①～④の手順が定められており、そのように行動しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	72	1	0	0		こども達が「もっと来たい」「楽しい」と思えるように環境の設定や幅広いプログラムなど支援内容を充実させていきます。こどもの「できた」を保護者と一緒に喜び、専門的な支援で家族を支えます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	72	1	0	0	もっと通いたいと楽しみにしている。苦手な事にチャレンジする場でもあるため、通所を楽しみにしているわけではない。しかし行けた・できたという達成感があるので、通所が嫌ではない様子。	ご利用者が「もっと来たい」「楽しい」と思えるような環境設定や幅広いプログラムを考えていきます。こどもの「できた」と保護者と一緒に喜び、共有し、専門的な支援でご家族を支えていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	68	5	0	0	空きが少ないため、なかなか希望の日時はむずかしいと思う。それ以外は、担当の方・みなさん、一生懸命に指導してくださっている。保護者に対しても話をよく聞いていただける。	ご利用者様のニーズをその都度確認し、一人ひとりに合った療育の頻度や専門的な支援を提供できるよう、職員一同スキルの向上に努めています。相談しやすい環境作りを行い、利用者や保護者に安心して通っていただけるような施設作りを行います。